



神社宮司

小林 ^{つかさ} 司さん(小坂)

早春の凜とした空気漂う境内に小林宮司の祈禱が静かに響く。
 神職に就いて35年。大池・小坂・八幡・建部、それぞれの神社の宮司として、全身全霊をささげて参拝者と氏神様の仲取り持ち役を務める。
 「御社を中心として地域が益々活性化し、皆さんの繋がりが強くなる
 ことが望みです」穏やかに語るその言葉に、代々継承し続ける宮司としての歴史と伝統、そして優しさがみえる。

(1月4日 下大池八幡神社にて)

働か姿

シリーズ

告知板

◆冬の分館スポーツ大会日程◆

- 2月1日(日) 小坂分館(ふれあいドーム)
- 2月8日(日) 上竹田分館(トレセン体育館)
- 2月15日(日) 下竹田分館(トレセン体育館)
- 2月22日(日) 上大池分館(トレセン体育館)

◆歴史講演会のお知らせ◆

日時 2月28日(土) 午後1時30分から
 場所 ミラ・フード館 ホール
 テーマ 近現代における山形村の産業(養蚕)
 講師 小松芳郎先生
 (松本市文書館特別専門員・前館長)
 その他 申込不要、無料
 問合せ 教育委員会事務局 (TEL98-3155)

PTA講演会

12月20日(土)トレーニングセンターにおいて山形小学校PTA講演会がありました。教育委員会の平林昌廣先生を講師にお招きし、「子どもも大人もみんないきいきわくわく！学校と地域の共育ち」と題して講演をしていただきました。山形村学校支援地域本部の事業内容をいろいろなエピソードをおりまぜながら説明していただき中身の濃い講演会となりました。小学生の保護者、小学校の先生を中心に多くの参加者があり、真剣に講演を聴いている姿がみられました。



消防団活動

地域の安全を守る団員たちの年末年始

年末警戒激励会

12月25日(木)、消防団年末警戒激励会がミラ・フード館にて行われました。式の後、各分団に分かれ担当地域の見回りに出動しました。見回りは30日(火)までの6日間続けられました。



消防正月行事

1月12日(月)、新春恒例の消防正月行事がありました。役場南駐車場にて交通祈願祭が



祈願祭

行われました。各分団ごとに整列した消防団員と消防車両がお祓いをうけ、1年の無事を祈願しました。続いて役場前を総勢176名の団員と消防車両、救急車の分列行進を行いました。



分列行進

その後トレセン体育館に移動し出初式が厳かに行われ、昨年の自然災害を教訓に防災の意識を高めました。また、日頃の活動に対し多くの団員が表彰されました。



山すそ

昨年の年賀状に「今年は年男です、ね、お互い頑張ろう」と書かれていたものがあつたが、早生まれの私は今年の未年が年男だ。午年の同級生に対しては自分より早く免許取得や成人となっていたので当時はうらやましかつたが、誕生日が遅れてやってくるので、「若い」というお徳感がめばえてきた▼昔から見た目年齢が若くそれに対して違和感があつた私だったが、最近では「若い」と言われることが快感へと変わり若くあつたと思うようになってきた▼健康であることが若さの秘訣であると思うが、年末にぎっくり腰に襲われ本意な正月を過ごすことになつた。体調の管理をしつかりやれという知らせだったのかもしれない▼まだ若いと思いつつも自分の姿を確認すると体重は微妙に増え白髪も目立ち始めてきている。どうやら老化現象は私にも進行しているようだ▼次の未年の時は還暦だが、赤いちゃんちゃんこより赤いジャージの似合うジジでありたい。

山形村功労者等表彰式

◆山形村功労者表彰

「地方自治功労」

山形村収入役、監査委員、
区長として多年にわたり務め、
山形村の地方自治の振興にご
尽力された。

◆地域づくり表彰



平沢 幸雄さん

長年にわたり、首都圏村人
会長として、山形村民との交
流を深め、スポーツ振興と地
域づくりに貢献された。



竹野入 實さん

長年にわたり、スポーツ振
興に貢献され、なろう原マレ
ットゴルフ場の環境整備や地
域づくりにも貢献された。



小林かつ代さん



上條 清文さん

長年にわたり、村と下竹田
区への寄付により地域づくり
を支援され、またふるさと講
演会では2020年東京オリ
ンピック招致成功に至るお話
をされ、村民に夢を与えた。



住吉 すみさん

長年にわたり、「三原色を
楽しむ会」の会を主宰し、絵
手紙作成の指導をつうじて村
民の生きがいづくりにご尽力
された。

1月7日(水)、トレーニングセンターで、平成26年度山形村功労者等表彰式が行われました。村や地域の発展に尽くされた、個人や団体の皆さんが表彰されました。



山形村農村生活マイスター

長年にわたり、女性の立場から地域農業の振興と農家生活の向上に取り組み、村特産の長いもの消費拡大や地産地消の推進に貢献された。

下大池まつり中年秘密社赤レンジャー

長年にわたり、三九郎やお祭りなど下大池区を盛り上げる活動にボランティアとして参加し、地域づくりに貢献された。

四ツ谷西山公園保存会

地域住民の憩いの場である西山ハイキングコースへ休憩場所を設置し、またコース周辺の環境整備を行うなど住みよい村づくりにご尽力された。

よしましよ会

長年にわたり、下竹田区公会堂の花壇の手入れや周辺の環境整備を行うなど、住みよい村づくりにご尽力された。

三夜塚連絡班

長年にわたり、三夜塚バス停の清掃やふれ愛公園のトイレそうじ及び草刈りを行い、住みよい村づくりにご尽力された。

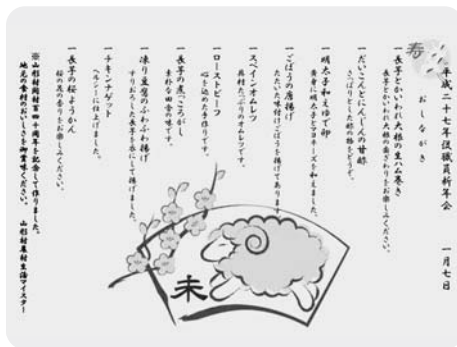
山形村商工会青年部

長年にわたり、道路の清掃やゴミ拾い等地域の環境美化を行い、住みよい村づくりにご尽力された。

役職員新年会には、農村生活マイスターによる山形村産の食材を使った料理が振る舞われました。



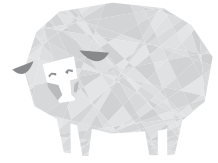
マイスターの皆さん



手作りのオードブル

うん メ〜エ

ぐあいに いきやあいいじゃん



二〇一五年末年の幕が開きました。今年には松本山雅のJ1元年、昨年以上の活躍に期待したいものです。

「美」という字は羊が大きいと書きます。皆さんの中の夢（羊）が大きく美しく育つ一年になるといいですね。

恒例の年男・年女の皆さんへのインタビュー、今年の質問は

- ① 今年の目標は何ですか？
- ② 今年に期待することを漢字一文字で表すと何ですか？その理由も教えてください
- ③ 山形村の好きなところはどこですか？
- ④ 今年手に入れたものは何ですか？



大池 由美
昭和42年生
(下大池)

努力・体力 為せば為る

① ゆとりを持ちたい。
② 『成』
「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」より、いろいろなことを成し遂げたいし、そのための努力をしたい。

③ 緑豊かな山々や時間の流れがゆったりとしたところが好きです。
④ 体力です。年と共に体力低下が著しいと思うので、これからのことを考え、体力をつけたいです。



上條 楓希
平成15年生
(上大池)

勝つぞ!!

① サッカーで優勝すること。
② 『勝』
サッカーでたくさん勝ちたい。日本人のスポーツ選手にたくさん勝ってほしいからです。
③ アイシテイがあるところ。
④ 優勝メダル



百瀬 綾花
平成3年生
(小坂)

車が欲しい!

① とにかく仕事をがんばる。
② 『昇』
昨年よりも良い年にしたいから。

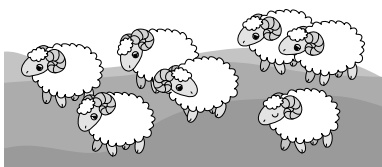
③ 自然が多く、人の温かみがとても感じられるところ。
④ 車

健康で 過ごしたい



上條 勝義
昭和18年生
(中大池)

① 人とのつながり、付き合いを大切にして、健康で1年を過ごしたい。
② 『健』
自分と家族の健康を願って
③ おいしい野菜や果物が穫れ、自然災害も少なく住みやすいところ。
④ 欲しいものは特にないが、小学校から高校までの12年間皆勤賞を続けた健康な体を維持したい。



よりよい 学校生活に



中川 夏津希
平成15年生
(上竹田)

① 小学校最後の年になるので勉強と行事をしっかりとやりたい。
② 『優』
だれにでも優しくしてあげたいから。
③ 村が平和なところ。
④ もっとたくさんの方たちを作りたい。

山形村未年年表

- 昭和6年
 - ・山形村青年図書館竣工
- 昭和30年
 - ・職員給与問題がこじれ、古畑一三村長辞任
 - ・学校給食室が完成し、完全給食開始
 - ・唐沢俊樹氏代議士に当選
 - ・村の人口が6千人を割る
- 昭和42年
 - ・小学校、運動場への地下道ができる
 - ・小学校校歌が刻み込まれた記念碑が寄贈される

2015 今年も

ひっじ年

穏やかに



矢内 広志
昭和42年生
(下竹田)

- ① 燃費の悪い車を良い車にする！(目指せエコドライブ)
- ② 『穏』
今年はずっと無事に過ごしたい。(目指せエコドライブ)
- ③ 約20年前と雰囲気があまり変わらないところ
- ④ 当選宝くじ

生き生きと



野口 茂之
昭和54年生
(下竹田)

- ① 病気や怪我のない一年にしたい。
- ② 『活』
生き生きとした活気ある充実した日々を過ごしていく。
- ③ 自然豊かで子育てしやすいところ。
- ④ 運動不足解消に努め、病気になる体力を手に入れたい。

レベルアップ



丸山 由香
昭和54年生
(下竹田)

- ① 趣味、仕事、家事など全てにおいて前進したい。
- ② 『一』
一歩一歩しっかりと向上していきたい。
- ③ 村の人たちが温かいところ。
- ④ 息子の活躍。

元気に活躍



中川 幸雄
昭和30年生
(小坂)

- ① 還暦を迎え、今まで以上に明るく元気に活躍する。
- ② 『幸』
景気など上向きになり、生活環境が良くなり、みんなが幸せな気持ちで暮らせることに期待したい。
- ③ 官民の一体感が強く、何事にも活発に取り組む姿勢。
- ④ これと言つての物・品はないのですが、やはり健康的な身体と精神(気持ち)を維持できる環境。

山形村の未年生まれ

(平成27年1月1日現在)
(人)

生年	年齢	男	女	計
大正8年	96	6	4	10
昭和6年	84	18	39	57
昭和18年	72	46	52	98
昭和30年	60	55	57	112
昭和42年	48	60	66	126
昭和54年	36	60	52	112
平成3年	24	29	35	64
平成15年	12	59	59	118
平成27年	0	0	0	0
合計		333	364	697



- ・元法務大臣 唐沢俊樹氏逝去
- ・公認保育所が完成
- ・組合立鉢盛中学校完成
- ・大干ばつによる農産物の被害甚大(被害総額1億8千万円)
- ・清水寺の建物仏像などの13点が村の文化財に指定される
- 昭和54年
 - ・村民会館(旧中学校校舎)の取り壊しへ
 - ・トレンシー起工式、研修施設工事着工
 - ・小学校全面改築工事完成
 - ・ゲートボールの普及が始まり一大ブームに
 - ・宅地造成が急増
- 平成3年
 - ・特別養護老人ホーム「ピアやまがた」完成
 - ・台風19号農業被害は5千万円
 - ・YCS『水色山路』審査員特別賞
 - ・『親父と息子の絆対話の集い』が三元中継(YCSと東京NHK、大分県大山町)で行われる
- 平成15年
 - ・周辺市町村と合併せず、山形村存続を決定
 - ・山形有線テレビの運営が村からテレビ松本へ移行

初稽古

新年を迎えたトレセン館内では、武道の各団体による初稽古が行われました。氷点下の朝が続く冷え込んだ体育館での練習は、子どもたちの元気な声や指導者の掛け声が響き渡り、一年の初めの気合いが入りました。

裸足で寒さとも闘いながら稽古に励む子どもたちに、「山形っ子」の頼もしささえ感じました。今後の成長がますます楽しみです。

一月四日(日)

山形少年剣道クラブ

竹刀の振り、面や胴の打ち込み、一本勝負の稽古



一月三日(火)

山形空手クラブ

近隣の団体と合同稽古。礼や基本の形を丁寧に学ぶ



一月六日(火)

山形柔道クラブ克己塾

二人一組で技の掛け合いや受け身の稽古



誌上で巡る山形の道祖神

案内人 籠田次郎

四良右門兼氏(下竹田) 28 前編

所在地・下竹田 北村
 碑身・横長の巨石 高さ百十坪 制作・嘉永三年十二月

下竹田中通り「森口線」の辻(この辻にも道祖神『路傍の情熱』がある)を唐沢方面に曲がり、たばこ屋の四つ辻を右に曲がって50mほど北へ進むと、左側に象のような大きな石が横たわっています。

『四良右門兼氏』と呼ばれるその大きな石には、はち切れんばかりに恰幅の良い男神と微笑ましい女神が肩を並べて立っています。男神は烏帽子をかぶり狩衣(活動的な衣装)を身に着け、女神は黒髪を右背に長く(22cm)垂らし十二単衣を着て、二人とも正面を向き足を揃えまるで記念写真

を撮るかのようなポーズをしています。道祖神巡りの皆さんからは「この道祖神を見てどう感じますか?」と問う前に「お顔が綺麗、いい笑顔をしている。生きていようだね。」との感嘆の声がよく聞かれます。

村には幾つもの道祖神がありますが、特に笑顔が素晴らしい、働き盛りで自信に満ちた中年の魅力が表現された温かみある石像からは、風雪に耐え、時代を超えて社会を見守ってきた神仏の姿を垣間見ることが出来ます。

(続く)



(敬称略)

おめでた(子・親)

- 澤野 未来 雄一 麻由子 下竹田
- 村上 拓己 正剛 友子 上竹田
- 増田 萌々花 新一 里香 下竹田
- 塩原 伊織 永司 香織 上竹田
- 川上 夕舞 信 夕美子 上竹田
- 山本 里和 達也 彩菜 下竹田
- 神農 幸歩 来栄 智恵子 下大池
- 宮本 泰輝 泰志 宣子 小坂
- 安藤善太郎 雄哉 佳織 上竹田
- 百瀬 弘 98歳 上竹田
- 小口 直芳 85歳 上大池
- 岩岡美喜子 87歳 中大池
- 森井 良子 61歳 下大池
- 野口 義信 75歳 上大池
- 齊藤 長女 94歳 下竹田
- 小林弥考枝 85歳 小坂
- 越 せえ 105歳 下竹田



昇る炎に願いを込めて三九郎

1月10、11日の両日、小正月の伝統行事三九郎が各地区で行われました。
正月飾りやダルマなどを集めて回り、親の手を借りながらやぐらを組み、立派な三九郎を作り上げました。夕方、点火された三九郎の燃え盛る炎は見事でした。その火で炙った繭玉を食べ、一年間の無病息災を願う風景をいつまでも受け継いでいきたいものです。



〽三九郎 豆知識〽
県内をはじめ全国的には、「どんど焼き」と呼ばれる地域が多いようですが、なぜ松本平では「三九郎」と呼ばれているのでしょうか？ 諸説のいくつかを紹介します。
①道祖神の「神主福間三九郎」の札が配られたことによる人名説。
②三九郎と呼ぶ木製の人形を備えることから、人形名に起因する説。
③凶作、重税、疫病の三つの苦勞（三九郎）を追い払う祭とする説。
他にも諸説があります。



1月9日(金)、小学校のスキー教室が行われました。3、4年生はあさひプライムスキー場、5、6年生は鹿島槍スキー場で、それぞれのレベルに合わせたグループに分かれ指導を受けました。どちらのスキー場も天候に恵まれ、楽しい一日になりました。
ちなみに、山形村にもスキー場があつたんですよ。スカイランドきよみず西側の斜面ですが、知っていましたか？
(最終営業年は昭和63年)

小学校スキー教室

子どもを育てる

シリーズ⑤

おかあさん、ただいまー！

○子どもにとつての家庭とは、母親のことであるらしい。
「おかあさん、ただいま」返事がないと、また、「おかあさん、ただいま」と。
○「おかあさん、私が帰つてくる時には、いつも家にいてね」これは、どの子どもも心の底に根強くもつている本音であり、すべての子どもがもつ切なる願ひである。親は決してこの願ひを軽く考えてはいけ
ない。
○共働きの家庭は、つい物を買い与えて、子どもへの負目につけようとする。物を安易に買い与えることは、子どもの物欲を増長させるだけ。次には、さらによいもの高価な物を要求してくる。それを断られると、子どもの不安は何倍かにふくれ上つて恨みとなつて返ってくる。
○共働きの家庭は、1週間に1度くらいは、早く帰つて子どもの帰りを待ち受けたい。

○心では決して理解することはできず、いつも、空虚な気持ちでいつばいなのではないだろうか。
親の事情によつては、止む

新春詠

俳句

山形俳句クラブ

七種の揃わぬままに粥を炊く

上條 清子

冬の原製紙工場の煙立つ

鈴木 まゆみ

冬至南瓜昨日だんごに今日スープ

青木 弥生

幼児の手にいっぱいの初日の出

竹野入 恒夫

弟を振りかへり見つ冬の朝

竹野入美奈子

音もなく雪降る夜やミシン踏む

大澤 富久子

冬満月蟹の甲羅の光り出す

住吉 愛子

しもやけの火照りをさする湯治かな

上條 治子

木枯らしの居据る納屋に糸車

青柳 美代子

日昏まで忙しく動く寒天さらし

上條 忠昭

追伸の如侘助のこむすびすけ一花かな

中村 貞子

書を終へて迎へ待つ子の雪を掻く

本庄 日出子



短歌

山形村短歌会

初夢や羊となりて悠然と

喰らうは楽し世俗の憂さも

百瀬 章

指先で画面にタップふむごとく

スマホ操るーT時代

鈴木 嘉子

どこまでも続きて静かな雪景色

霞は低く川のあるらし

村上 世志子

邪魔ものスギナを抜きて陰干す

逆手にとりて漢方薬に

中村 永子

蟬せみ梅はひっそり散りぬ紅梅に

春のきざしのバトン渡して

斉藤 由貴子

新米の粒の細さよ悲しけれ

日照不足の蔭る日多く

斉藤 惇子

エンディングノートを書いて断捨離を

元気なうちにと意気込んで見る

村上 玲子

高齢者講習検査無事終る

先ずは結果を妻のみたまに

横水 昭一

収穫で熱りし体癒しくれし

胡桃の大樹チエーンソー入る

百瀬 洋子

微力なりされど渾身うすら陽に

豊作黒豆ひたすらたたく

百瀬 美智子

信濃では噴火と地震にみまわれし

スキーの里の客入り案ず

小林 政幸

先輩の歌友ともに給ひし黒小豆

孫の祝ひの赤飯に炊く

上條 さち子

いつしらに父母のとらひ齡を超えたりし

新しき年また迎へゆく

水谷 奈穂美

ママチャリに息きらせゆく保育園

もうかけっこの始まる時間

大月 美智子

